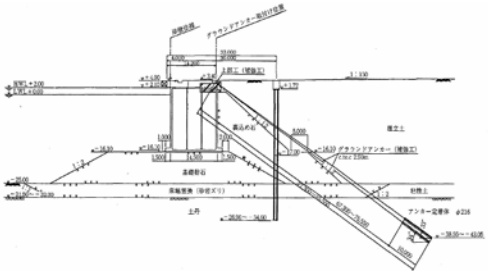
様式

技術名称	グラウンドアンカーを用いた耐震強化岸壁	技術の分類	工法	NETIS登録の有無（有場合はNETIS番号）		無
会社名等	株式会社エスイー	担当者	竹家宏治		連絡先	03-3340-5510
技術の概要	本技術は地すべり抑止等に用いられるグラウンドアンカー工法により、護岸・岸壁の耐震補強を行なう工法である。従来は鋼管杭や控え杭、背面地盤の軽量地盤への置き換えまたは護岸・岸壁の改新や新設等により耐震化を行なっていた。本技術の活用により、耐震補強工事の施工範囲を狭くできるため、港湾施設を供用しながら補強工事を行なうことができるほか、工期の短縮により工事費の縮減を図れる			添付資料	パンフの有無	有
					その他の資料	技術資料（設計施工例）
技術の特徴	・施工範囲を狭くできるため、港湾施設等を供用しながら既設岸壁の補強を行なうことができる。 ・工期を短縮できる。 ・重力式岸壁の場合、構造物にプレストレス力を付与できるため、地震時の変位を最小限に抑えることができる（解析結果では-7.5m岸壁のレベル2地震動時の変位が4～5cm）。 ・工期を短縮できるなどの効果により、現場条件により差はあるが工事費が60%程度に縮減できる。 ・引張材のPC鋼より線は完全二重防食構造となっているため、港湾地域においても十分な防食性・耐久性を有する。 ・アンカーの定着地盤は岩盤またはN値30程度以上の比較的硬質な地盤であることが求められる。			その他	・特許等技術の提供に支障をきたすものはない。 ・グラウンドアンカーの岸壁・護岸の耐震補強としての実績は、国土交通省：1件、その他公共機関：4件、民間等：2件となる ・既設岸壁、新設岸壁両方に適用可能である。 ・適用可能な岸壁の形式は、ケーソン・L型ブロック・ブロック積み・矢板式等である。 	

※複数の技術について発表をご希望の場合は技術ごとに記載願います。